

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
EU41B101		授業研究・子ども理解総合演習Ⅰ (Comprehensive Seminar of Lesson Study & Understanding StudentⅠ)					実践演習科目		対面							
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択必修		2	1	教育学研究科	後期	水1	日本語			複数(共同)						
担当教員	氏名 柴田康弘, 長谷部英樹															
	E-mail shibata-yasuhiro@oita-u.ac.jp 内線 7586															
授業の概要	本授業においては、授業での学習支援と指導法に関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。 確かな学力の形成を促す指導法や学習集団の構成の原理を理論的に学ぶとともに、具体的な授業実践例を題材とした演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討する能力を養う。また、各教科等の評価の基準策定と学力評価法、ICTを活用した指導法の理論を習得し、演習を通した双方向的な学習によって実践的な力量を構築する。															
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 確かな学力の形成を促すための指導法について深く理解できる										○						
目標2 各教科等の評価の基準を策定し、学力を適切に評価するための原理について深く理解できる											○					
目標3 ICTを活用した指導法について深く理解できる										○						
目標4 学校現場の事例を題材として現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討することができる											○	○				
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)										3	4	3				
授業の内容																
1		授業テーマに関する学校の具体的課題の理解														
2		確かな学力の形成を促す指導法と授業実践例による分析研究—全体指導を中心に														
3		確かな学力の形成を促す指導法と授業実践例による分析研究—グループ別指導を中心に														
4		確かな学力の形成を促す指導法と授業実践例による分析研究—個別指導を中心に														
5		学力向上に関するフィールドワーク														
6		確かな学力の形成を促す学習集団構成の原理														
7		確かな学力の形成を促す学習集団構成の授業事例分析														
8		確かな学力の形成を促す学習集団の構成を取り入れた授業の立案と討議														
9		評価の基準策定の原理と事例分析														
10		学力評価法の原理と事例分析														
11		評価の基準策定と学力評価法に関する実践的演習と討議														
12		ICTの活用に関するフィールドワーク														
13		ICTを活用した指導法の原理と事例分析														
14		ICTを活用した指導法の実践的演習と討議														
15		全体を通した学習成果の発表と総括														
ラーニングログ	A:知識の定着・確認		演習, 討議, 発表					工夫その他の	LMS(Moodle)の活用							
	B:意見の表現・交換	○														
	C:応用志向	○														
	D:知識の活用・創造	○														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	資料の精読(10h), レジュメ・発表資料の作成(15h)														
	事後学修	レポート作成(20h)														
	想定時間合計	45														
教科書	授業中に指示する															
参考書	授業中に指示する															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)		70%	○	○	○	○						
	最終レポート		30%	○	○	○	○						
注意事項													
備考													
リンク													
		URL											
担当教員の 実務経験の○ 有無													
教員の 実務 経験		柴田：中学校・教育行政、長谷部：小学校・教育行政											